

放課後等デイサービス評価表

施設名 サポートハウス心愛 学童

記入者名 職員全体集計

| | | 該当に○印を記入ください | | | 改善目標、工夫している点など |
|---|---|--------------|--------------|-----|--|
| チェック項目 | | はい | どちらとも いいえ | いいえ | |
| 環境・ 体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 2 | 2 | | ・昨年度より定員数も変更になり、広くはないが不便さを感じることはない。 ・全ての部屋を有効活用している。 |
| | 2 職員の配置数は適切か | 1 | 2 | 1 | ・曜日によって、もう少し配置数をほしい日がある。 ・細やかな支援や指導が難しい時もある。一人が休むと送迎等で支障も出てくるので休みづらい。 |
| | 3 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 3 | 1 | | ・家庭と変わらない生活空間なので、現在利用しているお子さんにとっては、不便さを感じない。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 3 | 1 | | |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して、保護者の意向を把握し業務改善につなげているか | 4 | | | ・意向に沿える部分は、できる範囲で対応している。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | | | |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 3 | | |
| | 8 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 2 | 2 | | ・コロナで研修の機会が減っている。多くの職員が機会を得られるといい。 |
| 適切な支援の提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 4 | | | |
| | 10 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 4 | | | |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | | | ・ミーティングで職員同士、アイデアを出し合いプログラムを決めている。 |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 2 | 2 | | ・今年度は、コロナの関係で活動プログラムを企画するのに制限はあった。 |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか | 3 | 1 | | ・学校の休校が続いていたが、生活レベルが少しでも保つことができるよう、課題を決めて取り組むことができた。 |
| | 14 子供の状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 1 | | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 4 | | | |
| | 16 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか | 3 | 1 | | |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 3 | 1 | | |
| | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 2 | 2 | | |
| 19 ガイドラインの総則の(3)②基本活動(ア、イ、ウ、エ)を複数組合わせて支援を行っているか | 3 | 1 | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 3 | 1 | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認など)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 3 | 1 | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか | 2 | 2 | | ・服薬などの効き目を日常観察し、保護者と情報共有している。場合により通院に同行することもある。 ・送迎車内に緊急連絡先が書いてある。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子供園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 3 | 1 | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 3 | 1 | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流など障害のない子供と活動する機会があるか | 1 | | 3 | ・イベント等の中止や縮小があり機会をもてていない。 ・時間が取れなかったり、新型コロナの感染拡大で活動の制限はあるが、将来のために必要と感じる。 |
| | 27 | 地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか | 3 | 1 | | |
| | 28 | 保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか | 2 | 1 | 1 | |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 3 | 1 | | |
| | 30 | 日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 4 | | | |
| | 31 | 保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか | 3 | 1 | | |
| | 32 | 父母会の活動支援や保護者会の開催などにより保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 2 | 1 | ・コロナで集まれる機会がなかった。 |
| | 33 | 子供や保護者からの苦情について対応体制を整備するとともに保護者に周知説明し、苦情があった場合迅速かつ適切に対応しているか | 3 | 1 | | |
| | 34 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信しているか | 3 | 1 | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 4 | | | |
| | 36 | 子供や保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 3 | 1 | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 3 | | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、不審者対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 3 | 1 | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練が行われているか | 4 | | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか | 3 | 1 | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 1 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか | 3 | 1 | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 3 | 1 | | |